名称　串木野港国家石油備蓄基地シーバース灯
位置
所在地　鹿児島県串木野港（串木野港A防波堤灯台の西北西方約二・六キロメートル）
北緯　三一―四三―一二
東経　一三〇―一三―三九
変更年月日　令和八年七月三日
記事　一時撤去中のところ復旧

名称　コズカミ礁灯浮標
位置
所在地　神島灯台（三重県鳥羽市）の東北東方約一・六キロメートル
北緯　三四―三三―一四
東経　一三七―〇〇―〇八
変更した事項　光度　実効光度一〇〇カンデラ
記事　附属施設　レーダー反射器
変更年月日　令和八年七月五日

名称　岡山第七号灯浮標
位置
所在地　岡山県岡山港（潰島西端の西北西方約七四〇メートル）
北緯　三四―三五―四二
東経　一三三―五七―二二
変更年月日　令和八年七月六日

変更した事項　位置
所在地　岡山県岡山港（潰島西端の西北西方約七四〇メートル）
北緯　三四―三五―四〇
東経　一三三―五七―二八

名称　伊勢湾第三号灯浮標
位置
所在地　伊良湖岬灯台（愛知県田原市）の西北西方約四・二キロメートル
北緯　三四―三五―一七
東経　一三六―五八―一六
変更した事項　附属施設　レーダー反射器
変更年月日　令和八年七月八日

名称　大分港クラサスシーバース灯
位置
所在地　大分県大分港（大分港鶴崎西防波堤灯台の西北西方約五四〇メートル）
北緯　三三―一六―五〇
東経　一三一―四〇―一六
変更した事項
記事　一　附属施設
(一)　副灯二個
イ　灯質　モールス符号赤光毎一二秒にU（・・―）
ロ　光度　実効光度一八〇カンデラ
ハ　光達距離　平均水面上から灯火まで六・七メートル
ニ　高さ　平均水面上から灯火まで六・〇海里
ホ　設置場所　本灯の東方約一九〇メートル及び西方約二二〇メートル
ヘ　記事　副灯二個は本灯と同期点滅
(二)　レーダー反射器
二　クラサスケミカル株式会社管理
変更年月日　令和八年七月八日

名称　関空泉州沖連絡橋橋梁灯（P五灯）
位置
所在地　関空泉州沖連絡橋橋梁灯（C三灯）の北西方約一・七キロメートル
北緯　三四―二六―〇七
東経　一三五―一五―五九
変更した事項　高さ　平均水面上から灯火まで九・七メートル
変更年月日　令和八年七月十三日

名称　関空泉州沖連絡橋橋梁灯（P六灯）
位置
所在地　関空泉州沖連絡橋橋梁灯（C二灯）の北西方約一・四キロメートル
北緯　三四―二六―〇八
東経　一三五―一六―〇〇
変更した事項　高さ　平均水面上から灯火まで九・七メートル
変更年月日　令和八年七月十三日

名称　金比羅岬灯台
位置
所在地　北海道苫前郡初山別村（金比羅岬）
北緯　四四―三三―四七
東経　一四一―四六―二六
変更した事項　塗色及び構造　白地に赤横帯二本塗　塔形
灯質　単せん白光　毎四秒に一せん光
変更年月日　令和八年七月十六日

名称　朝日礁灯浮標
位置
所在地　伊良湖岬灯台（愛知県田原市）の南西方約一・六キロメートル
北緯　三四―三四―〇五
東経　一三七―〇〇―二一
変更した事項　灯質　単せん赤光　毎三秒に一せん光
光度　実効光度一〇〇カンデラ
記事　附属施設　レーダー反射器
変更年月日　令和八年七月十七日

名称　関空泉州沖連絡橋橋梁灯（P四灯）
位置
所在地　関空泉州沖連絡橋橋梁灯（C二灯）の北西方約一・五キロメートル
北緯　三四―二六―一一
東経　一三五―一五―五七
変更した事項　位置　関空泉州沖連絡橋橋梁灯（C二灯）の北西方約一・五キロメートル
北緯　三四―二六―一〇
東経　一三五―一五―五七
変更年月日　令和八年七月十七日

名称　悪石島灯台
位置
所在地　鹿児島県鹿児島郡十島村（悪石島）
北緯　二九―二七―〇〇
東経　一二九―三六―五二
変更した事項　灯質　単せん白緑互光　毎一六秒に白一せん光、緑一せん光
光度　白光実効光度一一〇、〇〇〇カンデラ　緑光実効光度一〇〇、〇〇〇カンデラ
光達距離　一九・五海里
変更年月日　令和八年七月十八日
記事　一時消灯中のところ灯質等変更のうえ復旧

名称　下関南東水道第三号灯浮標
位置
所在地　本山岬（山口県山陽小野田市）の南西方約六・二キロメートル
北緯　三三―五四―一七
東経　一三一―〇七―一七
変更した事項　位置　正規位置の一二五度約一、四三六メートル
変更年月日　令和八年七月二十二日
記事　一時変更

名称　高豊漁港海岸沖L立標
位置
所在地　赤羽根港東防波堤灯台（愛知県田原市）の東北東方約一七キロメートル
北緯　三四―三八―五七
東経　一三七―二二―〇八
変更した事項　一時記事変更中のところ復旧
変更年月日　令和八年七月二十三日